

からすま病院

NEWS



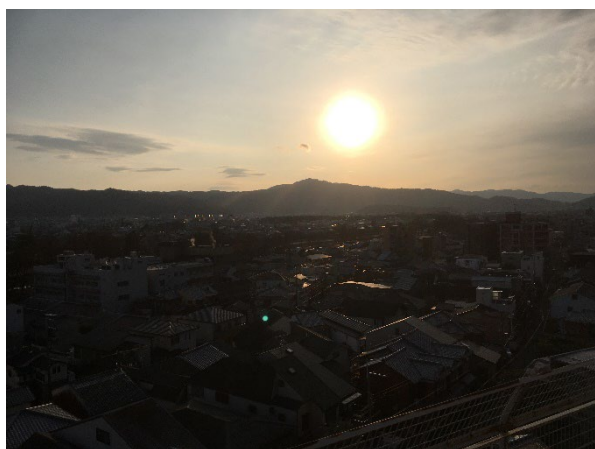
発行：社会福祉法人京都社会事業財団
 京都からすま病院
 〒603-8142
 京都市北区小山北上総町 14
 TEL 075-491-8559
 FAX 075-492-4304



院長 菅田 芳孝

あけましておめでとうございます。日本対がん協会の推計では、新型コロナウイルスによるがん検診受診者減少のため 2020 年だけで同協会分約 2100 例、他の検診、医療機関の数字を合わせると約 1 万例の悪性腫瘍が未発見となっている可能性があるそうです。このウイルスとの「付き合い方」に少し光が見えてきた今、新型コロナウイルスに振り回される状況から脱し従来の医療を継続発展させる、これが今年の医療の基本と考えます。当院もその一端をしっかりと担うべく研鑽を続けてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

～当院東に位置する、比叡山。窓から見える景色は、四季折々の情緒を感じることができます～



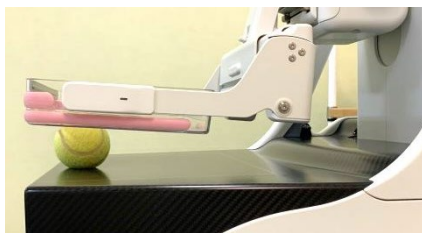
マンモグラフィ検査のご案内

当院では富士フィルムメディカルの AMULET Inovality を使用して、マンモグラフィ検査(乳房 X 線撮影)を行っており、日本乳がん検診精度管理中央機構のマンモグラフィ検診施設・画像認定を取得しています。

マンモグラフィと言われて「痛い検査」と連想される方が多いと思いますが、「良い画像・病気を見つける検査を」と思うと乳房をなるべく奥から引き出し、乳房を薄く均等に広げる必要があるため、やはり痛みが伴います。ただ避けられる痛みを減らすため、当院では2つの機能を導入しています。

まずは、乳房を圧迫する板を標準なものとは別に用意しています。この圧迫板は乳房全体に均一な圧力がかかるようになっており、局所的な痛みを分散される設計で最適な圧力での圧迫が可能になっています。

下の写真は標準な圧迫板との比較です。右の写真にくらべ左の写真は圧迫板が傾いています。この傾きは圧迫する乳房の形や厚み・圧迫の強さにより変化することで圧力を分散し痛みを低減します。



【痛みの少ない圧迫板】



【標準な圧迫板】

またもう一つは「なごむね」という機能です。こちらは、ある程度必要な圧迫をしたのちに少しだけ圧迫を緩めて撮影します。短い時間であれば乳腺の広がりが保たれるという性質を利用した機能です。

実際には撮影技師が患者さまと対話し乳房に合わせた圧迫の方法を選択しており、患者さまに寄り添った検査の実施を心がけております。

マンモグラフィ検査は乳腺外来や、人間ドック・健診での乳がん検診にてご予約いただけます。また、京都市乳がん検診施設にも登録していますので 40 歳以上の京都市民の方にご利用いただけます。

コロナウイルスの流行で健診を延期したままの方も多くなっています。当院でも年間約 800 件の検査を行っていましたがコロナ禍で検査件数の減少が顕著にみられ、健診受診率の減少を肌にかけております。ぜひ一度検査を検討されてみてはいかがでしょうか。

	月	火	水	木	金	土
乳腺外来	-	-	午後	-	午後	-
京都市 乳がん検診	午前 午後	午前 午後		午前 午後		午前